

新型コロナウイルス感染症流行下の 日本人旅行者の動向（その4）

～JTBF旅行意識調査結果より～

2020年7月30日

公益財団法人日本交通公社
観光地域研究部 市場調査チーム

調査概要

調査名 : JTBF旅行意識調査
調査対象 : 全国18～79歳の男女（調査会社のパネルより抽出*）
調査方法 : 郵送自記式調査*
調査期間 : 2020年5月20日～6月5日
標本の大きさ : 1,472人

回答者属性 :

年齢 (歳)	男性								女性								合計
	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	
標本の 大きさ (人)	34	91	113	150	120	137	100	745	22	78	111	127	116	149	124	727	1,472
構成比 (%)	2.3	6.2	7.7	10.2	8.2	9.3	6.8	50.6	1.5	5.3	7.5	8.6	7.9	10.1	8.4	49.4	100.0

*国勢調査時の人口に基づき、住宅地図データベースから世帯を抽出し、個人を割り当てた。これにより、地域、性年代の偏りなく調査対象を抽出した。
その上で郵送により調査票を送付し、回答者自身が記入を行う自記式により回答を得た。

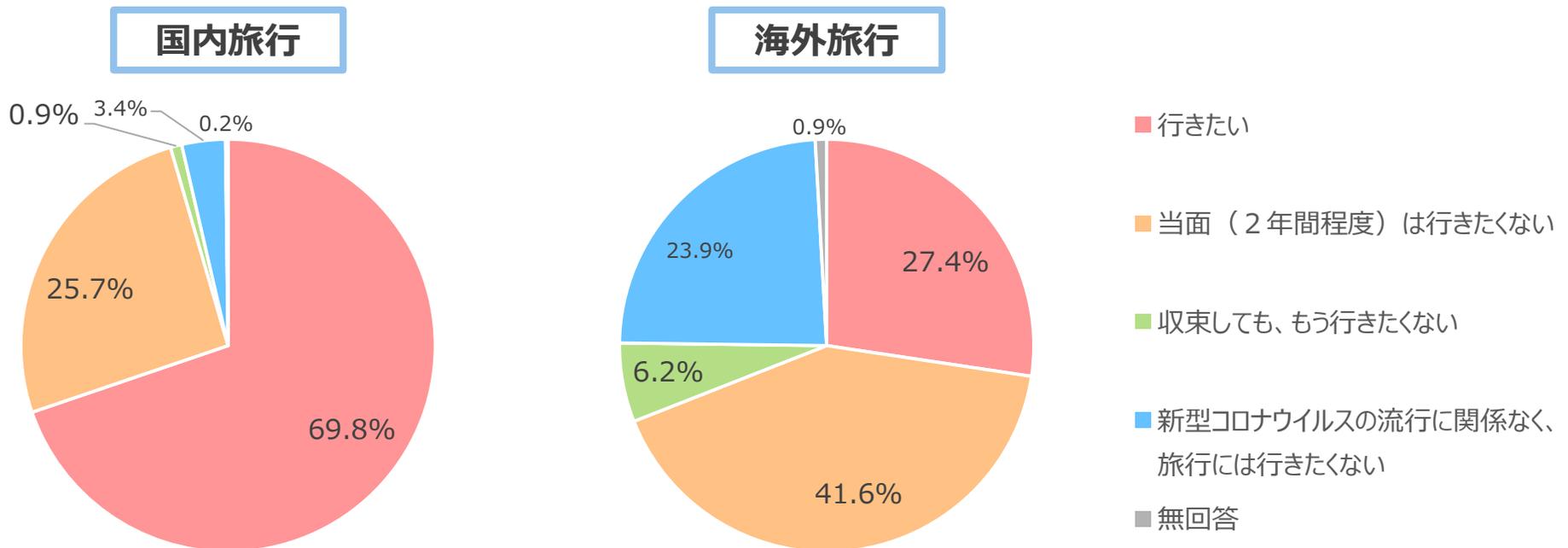
調査結果（新型コロナウイルス収束後の旅行について）

1. 旅行意向（国内旅行・海外旅行）	… p.4
2. 旅行をするために必要な条件	… p.7
3. 旅行の動機	… p.8
4. 今後行ってみたい旅行タイプ	… p.10
5. 行きたい/あまり行きたくない地域	… p.12
6. 旅行先の選択・旅行先での行動の変化	… p.13

約7割が国内旅行は前向き、約4割が海外旅行は控える傾向

- 新型コロナウイルス収束後の旅行意向は、国内旅行では69.8%が「行きたい」、25.7%が「当面は行きたくない」と回答し、約7割が意欲的でした。
- 一方で、海外旅行では「当面は行きたくない」が41.6%、「行きたい」が27.4%と上位2位が国内旅行と逆転しました。さらに、「収束しても、もう行きたくない」が6.2%と、国内旅行（0.9%）に比べて高くなっています。

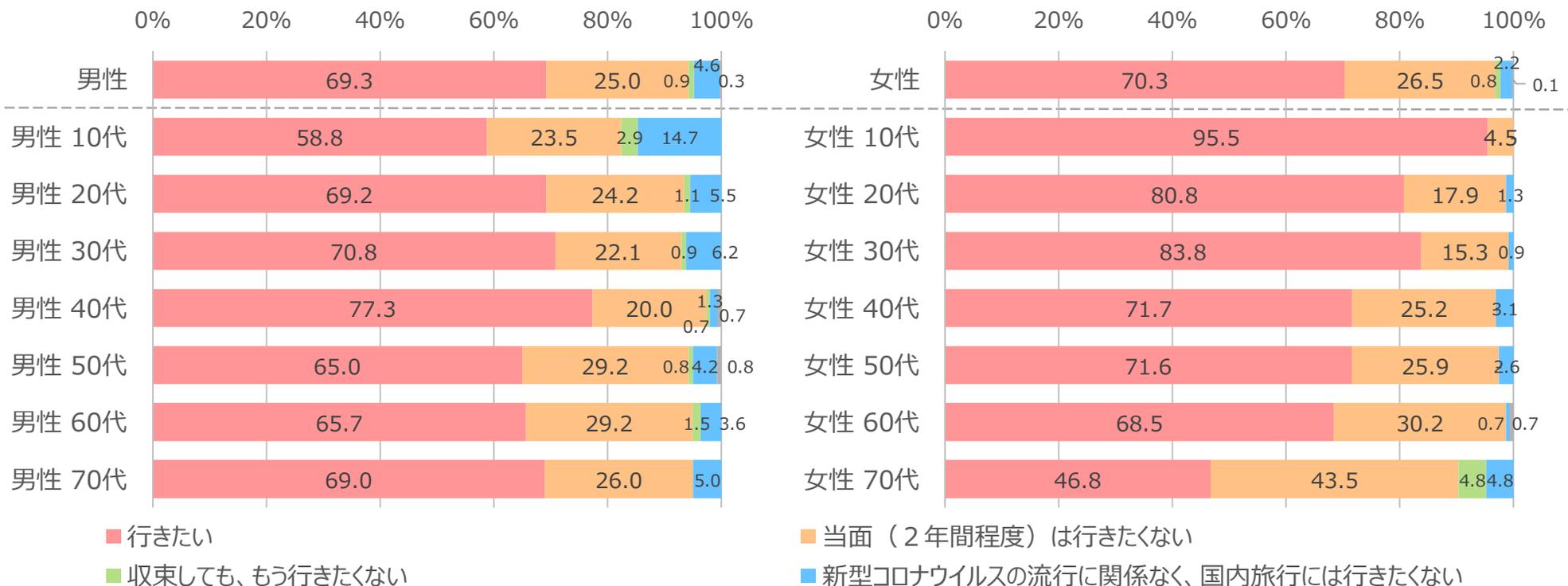
Q. 新型コロナウイルスの流行が収束した後、国内/海外の観光レクリエーション旅行へ行きたいと思えますか。
【単一回答】



新型コロナ収束後の国内旅行 若年層の女性で高い旅行意向

- 新型コロナ収束後の国内旅行意向を性別にみると、男女による差はみられませんでした。
- 男性では「行きたい」が40代で最も高く8割弱、10代で最も低く6割弱となりました。その他の年代では概ね7割弱となり、年代による差は顕著にはみられませんでした。一方、女性は若い世代ほど、収束後の国内旅行に積極的な意向を示しました。

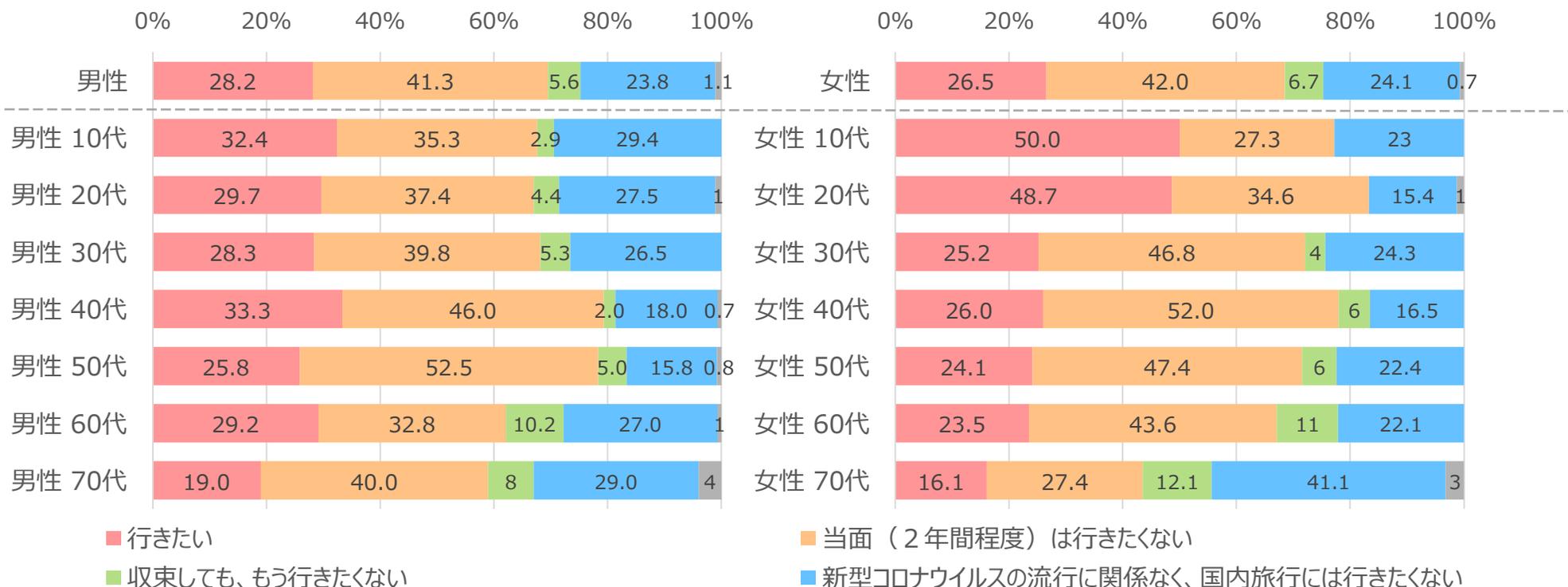
Q. 新型コロナウイルスの流行が収束した後、国内の観光レクリエーション旅行へ行きたいと思いますか。【単一回答】



新型コロナ収束後の海外旅行も 若年層の女性で高い旅行意向

- 新型コロナ収束後の海外旅行意向を性別にみると、国内旅行同様、男女による差はみられませんでした。
- 年代別では、男女ともに70代で「行きたい」が低率にとどまり、海外旅行に慎重な姿勢がうかがえました。一方で、国内旅行と同様、若年層の女性で旅行意向は高く、10~20代の約半数が「行きたい」と回答し、新型コロナ収束後の海外旅行に積極的な意向を示しました。

Q. 新型コロナウイルスの流行が収束した後、海外の観光レクリエーション旅行へ行きたいと思いますか。【単一回答】



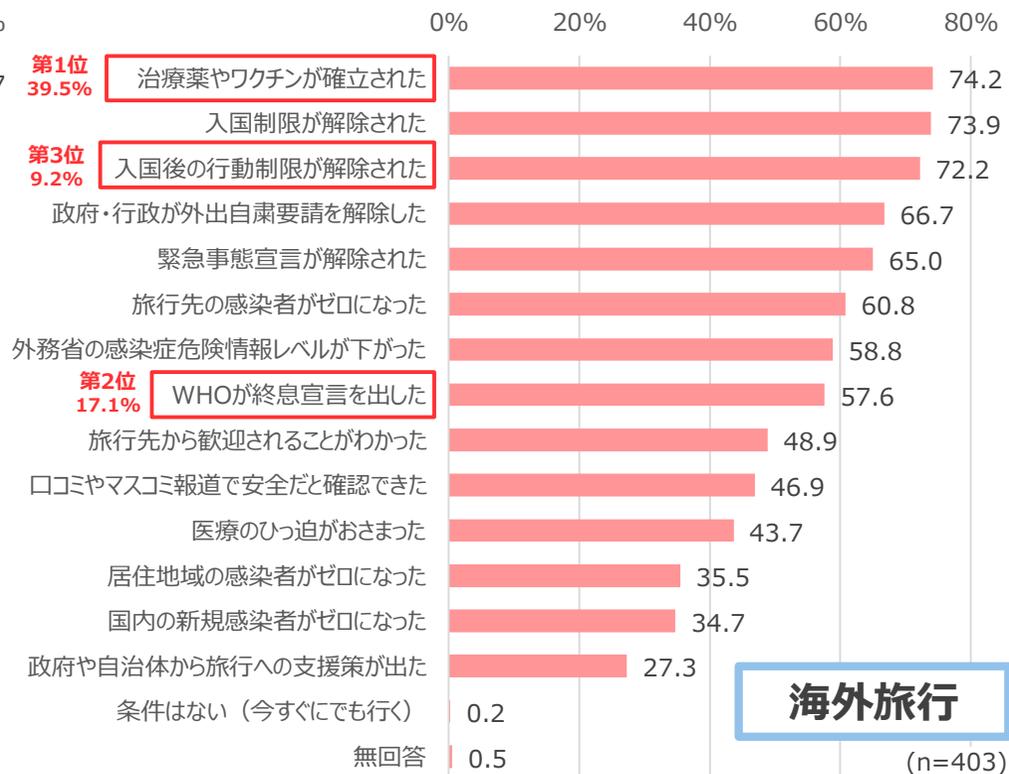
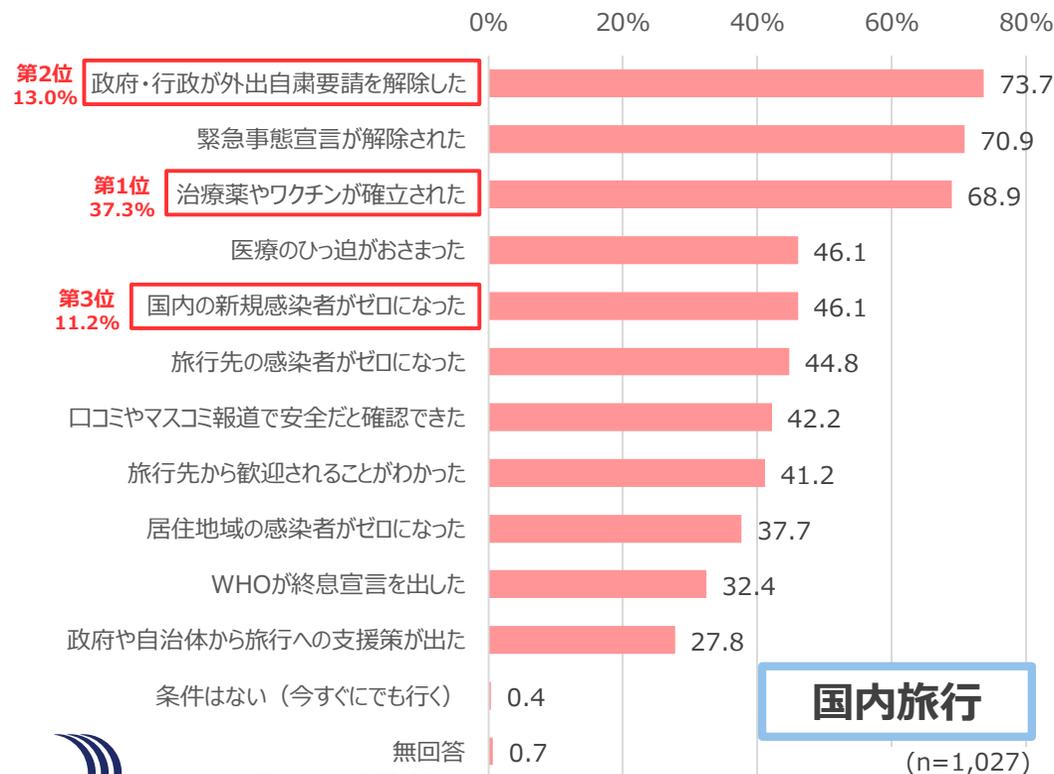
旅行再開の条件「外出自粛要請の解除」「治療薬やワクチンの確立」

- 新型コロナ収束後、旅行をするために必要な条件は、国内旅行では約7割が「政府・行政が外出自粛要請を解除した」「緊急事態宣言が解除された」「治療薬やワクチンが確立された」と回答しました。海外旅行では7割以上が「治療薬やワクチンが確立された」「入国制限が解除された」「入国後の行動制限が解除された」と回答しました。
- ただし、最も重要な条件を尋ねると、国内旅行・海外旅行ともに「治療薬やワクチンの確立」が第1位と順位が変動し、回答者により各項目の重要性が異なることが示唆されました。

Q. 新型コロナ収束後、どのような条件が満たされれば国内/海外の旅行を実施したいと思いますか。

(新型コロナ収束後に旅行に行きたいと回答した人のみ)【複数回答】

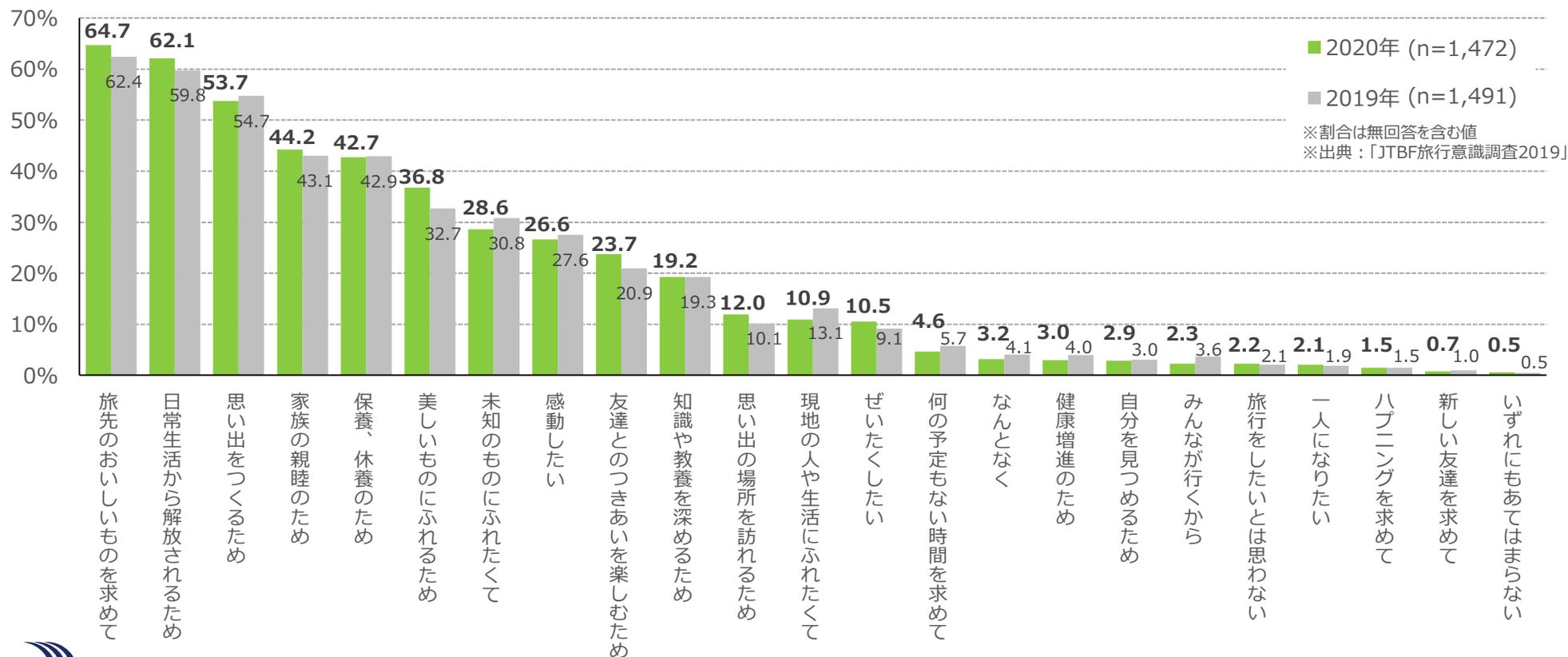
※赤枠は、“最も重要な条件の単一回答”の上位3位を示す。



旅行の動機 コロナ禍においても大きな変動なし

- 最も回答の多い動機は「旅先のおいしいものを求めて」、次いで「日常生活から解放されるため」で、全体の6割以上を占めます。3～5位には「思い出を作るため」、「家族の親睦のため」、「保養、休養のため」が4～5割で続きます。
- これらの順位と割合は、前年からほぼ変動はありませんでした。

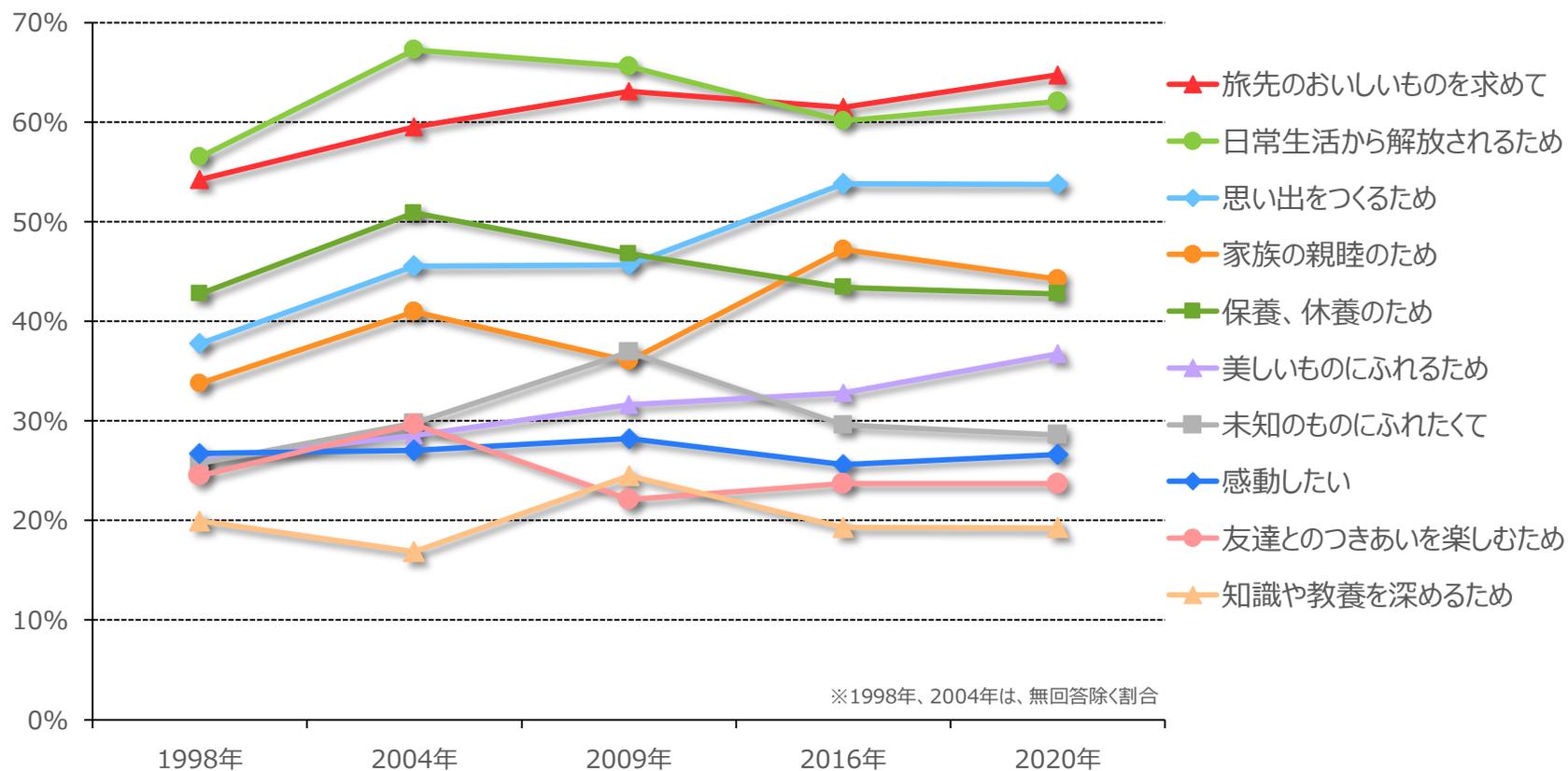
Q. 国内・海外の観光レクリエーション旅行をしてみたいと思うのは、どのようなお気持ちからですか。【複数回答】



「旅先のおいしいもの」「日常生活からの解放」が2大動機

- 1998年からの中長期的なトレンドをみても上位の項目に大きな変動はありませんでした。
- 特に、「旅先のおいしいものを求めて」「日常生活から解放されるため」はいずれの年も5割以上を占め、感染症流行に関わらず多くの人々が旅行に求める普遍的な動機となっています。

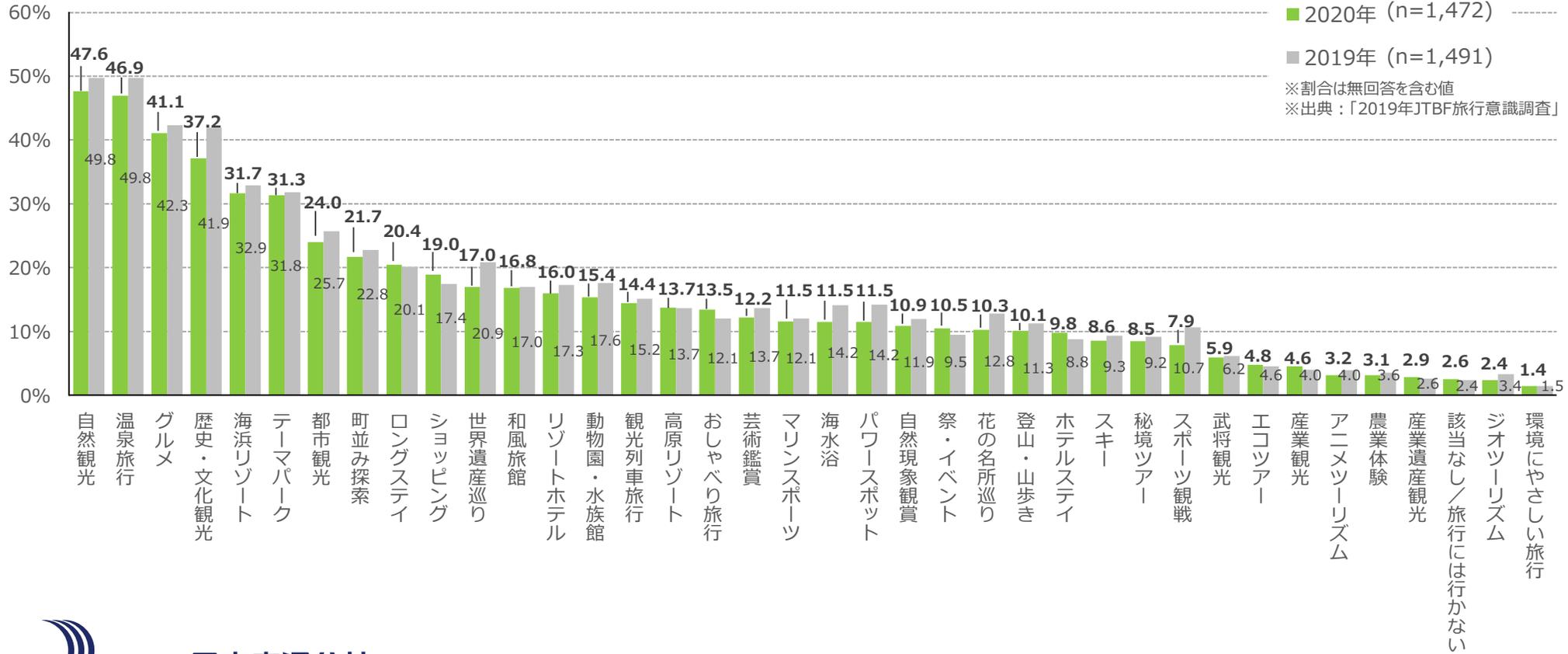
Q. 国内・海外の観光レクリエーション旅行をしてみたいと思うのは、どのようなお気持ちからですか。(上位10位)【複数回答】



行ってみたい旅行タイプ コロナ禍においても大きな変動なし

- 行ってみたい旅行タイプのTOPは「自然観光」であり、次いで「温泉旅行」で、これらは全体の5割弱を占め、以下、「グルメ」、「歴史・文化観光」、「海浜リゾート」と続きます。
- これらの順位と割合は、前年からほぼ変動はありませんでした。

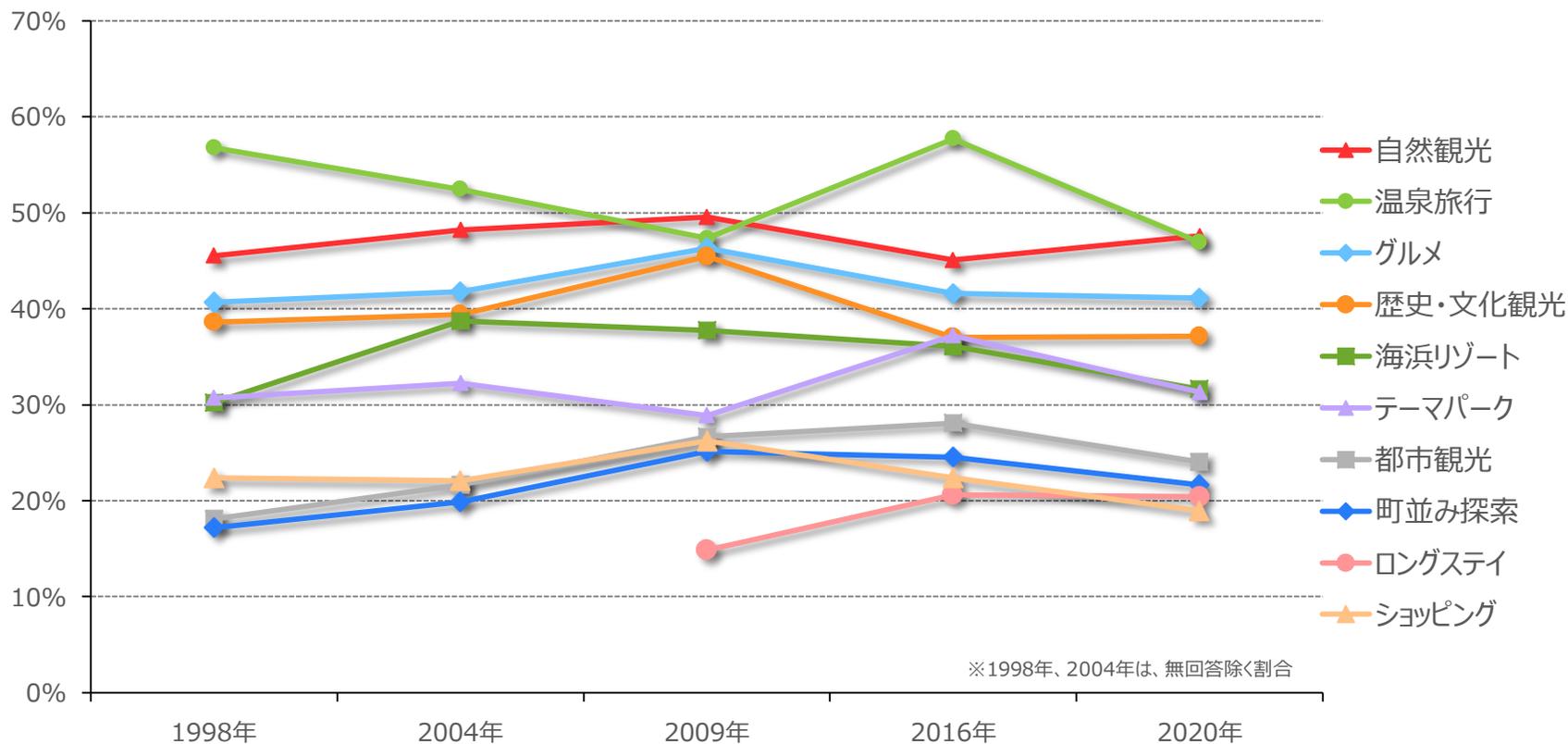
Q. 今後1～2年の間にあなたが行ってみたいと思うのは、どのようなタイプの旅行ですか。【複数回答】



行ってみたい旅行タイプ 「自然観光」「温泉旅行」が人気

- 中長期的なトレンドをみても上位の項目に大きな変動はなく、特に「自然観光」「温泉旅行」は感染症流行の影響を受けず人気が高い旅行タイプとなっています。
- 感染症流行により野外の活動が注目されていますが、「自然観光」はこの20年間、常に人気の旅行タイプでした。

Q. 今後1～2年の間にあなたが行ってみたいと思うのは、どのようなタイプの旅行ですか。(上位10位)【複数回答】

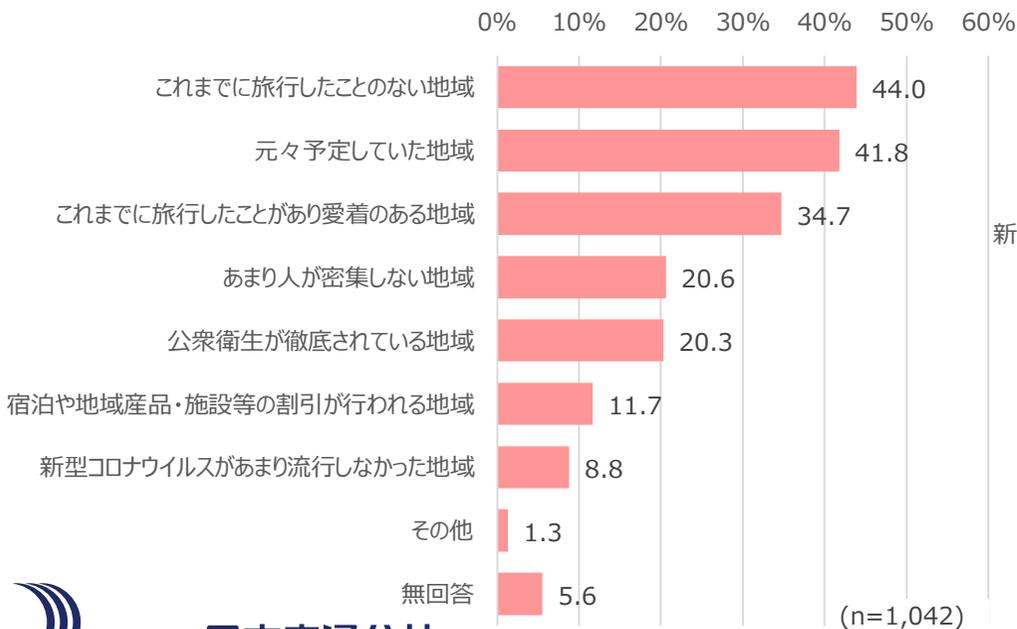


「公衆衛生の徹底」「密の回避」が地域選択で重要

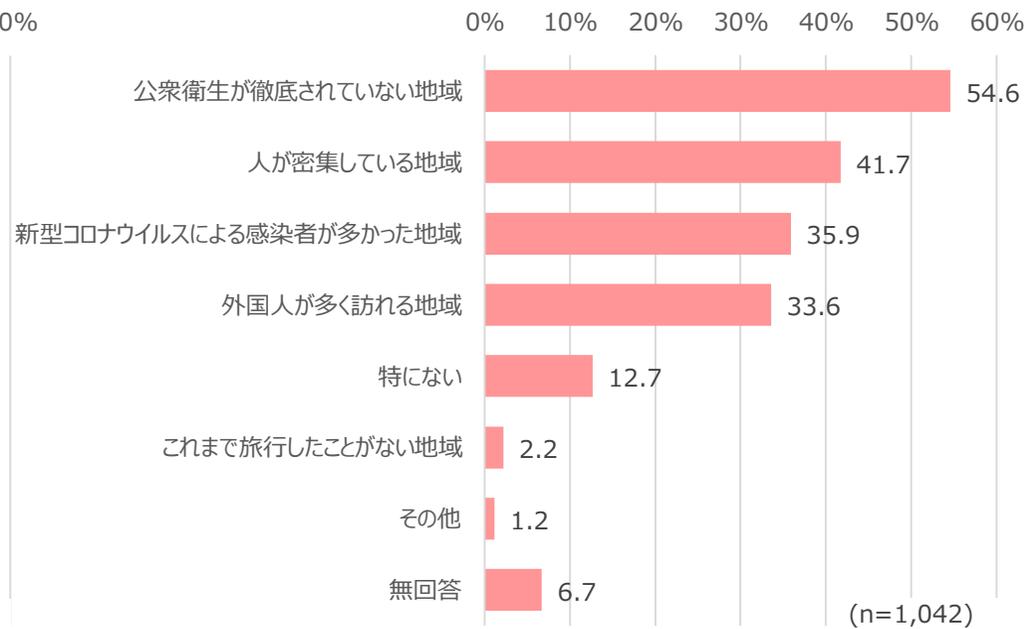
- 新型コロナ収束後に行きたい地域として、3割以上が「これまで旅行したことのない地域」「元々予定していた地域」「これまでに旅行したことがあり愛着のある地域」を挙げました。
- 一方で、あまり行きたくない地域として、4割以上が「公衆衛生が徹底されていない地域」「人が密集している地域」を挙げました。逆に、「公衆衛生が徹底されている地域」「人が密集しない地域」は行きたい地域の上位ではないことから、十分条件ではなく必要条件として捉えられている（最低限の条件であり、満たされてもプラスには評価されないが、満たされないとマイナスに評価される）と考えられます。

Q. 新型コロナウイルスの流行が収束した後、どのような地域に行きたい/あまり行きたくないと思いますか。
 (新型コロナ収束後に旅行に行きたいと回答した人のみ)【複数回答】

行きたい地域



あまり行きたくない地域

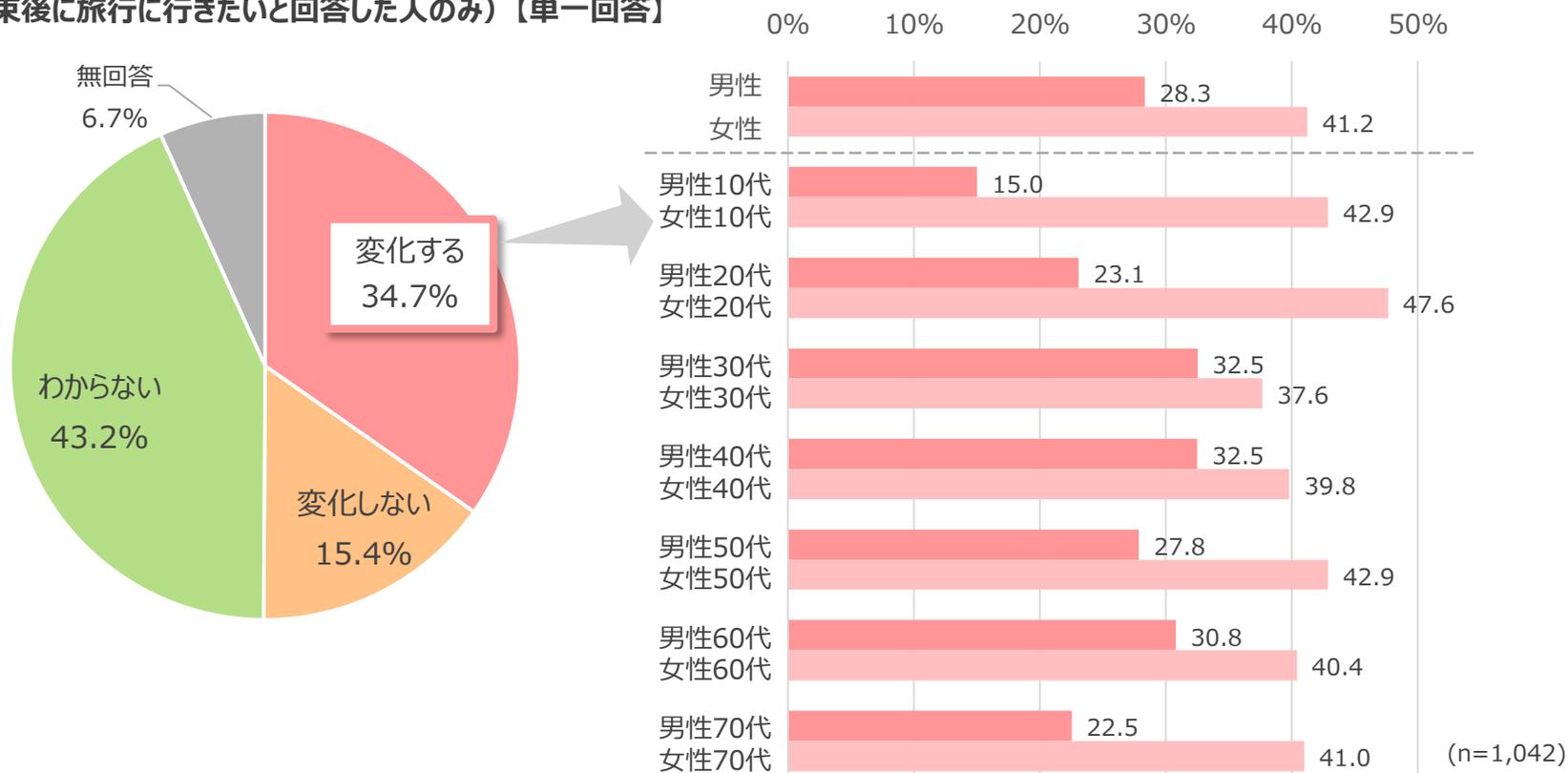


新型コロナ収束後の旅行先や旅行行動 約3割が変化する

- 新型コロナ収束後の旅行先や行動に関する変化の有無を尋ねたところ、「変化する」が34.7%、「変化しない」が15.4%、「わからない」が43.2%と、約半数が変化について図りかねているものの、残りの半数は何らかの変化の有無を想定していました。
- 「変化する」と答えた人を性年代別にみると、総じて女性の方が選択率が高く、男性では30～40代が比較的高い結果となりました。

Q. 新型コロナウイルスの流行は、収束後の旅行先や旅行先での行動に変化を与えますか。

(新型コロナ収束後に旅行に行きたいと回答した人のみ)【単一回答】



新型コロナ収束後の旅行では**基本的な感染予防策**を意識

- 新型コロナ収束後、旅行先の選択や旅行行動を「変化する」と答えた人に変化の具体的な内容を尋ねると、351人から回答が得られました。その記述内容は、「三密回避」に関するもの172件、「マスク着用など公衆衛生」に関するもの167件と、多くの人が基本的な感染予防策を意識していました。

Q. 新型コロナウイルス流行前と比較して、旅行先や旅行先での行動をどのように変えると思いますか。
(新型コロナ収束後に旅行に行きたいと回答した人のみ)【自由記述】

		(件)
ソーシャルディスタンス	・三密回避	172
公衆衛生	・マスク着用、手洗い・うがい、アルコール消毒 ・大勢の人が触るものの利用を控える	167 7
施設利用	・公衆衛生に配慮している施設を選ぶ ・ピュッフェの利用を控える、部屋食にする ・屋内施設に入らない	33 20 9
旅行先	・外国人の多い場所、インバウンドに人気の場所を避ける ・海外旅行の中止、国内旅行に変更 ・新型コロナウイルス対策が整っている地域、国に行く ・感染者が少ない地域を選ぶ ・繁華街に行かない	14 12 7 6 3
旅行行程・形態	・滞在日数の短縮、行動範囲の限定 ・訪問時期、時間の変更 ・ゆとりがある日程にする ・団体旅行、団体行動をしない	15 11 8 8
交通	・公共交通をあまり利用しない・車を利用する	15
体調管理	・体調に気を付ける、体調が悪いときは人に会わない ・体温を測る	3 3
その他	・旅行先の新型コロナウイルス情報を調べる ・試食や食べ歩きをしない ・現地の人に配慮する・感染させないようにする ・キャッシュレス決済をする	10 3 2 1

新型コロナウイルス感染症流行下の日本人旅行者の動向（その4）

～ JTBF旅行意識調査結果より ～

2020年7月30日発行

公益財団法人日本交通公社

観光地域研究部 市場調査チーム

五木田 玲子 / 伊豆 菜津美 / 仲 七重 / 安原 有紗 / 中島 泰 / 寺崎 竜雄

- 本資料は著作物であり著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い引用する際は必ず出所を明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する場合は著作権者の許諾が必要です。下記お問合せ先までご連絡ください。

公益財団法人日本交通公社 観光文化情報センター

電話番号：03-5770-8360

Website：<https://www.jtb.or.jp/>